

第682回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 [真備緊急治水対策プロジェクト]

小田川合流点付替え事業 [中国地整]

小田川3支川河川激甚災害対策特別緊急事業 [岡山県] 倉敷市真備町

<小田川合流点付替え事業>

- ・2018年の西日本豪雨では、高梁川の高い水位の影響を受け、支川である小田川の流れが阻害され水位が上昇。バックウォーター（背水）現象が起これ、小田川と高梁川の合流地点にある真備地区は、堤防が決壊するなどして甚大な被害を受けた。
- ・緊急治水対策プロジェクトの一環で、バックウォーター（背水）対策として小田川が高梁川と合流する地点を4.6km下流側に付け替える工事を実施し、小田川がバックウォーターの影響を受けにくくなる他、高梁川の水位も低下するため、左岸側に広がる倉敷市の中心市街地の氾濫危険度も低減。
- ・目玉は、新しい河道の線形を遮る「南山」の掘削で、発破と巨大重機による運搬との組み合わせで、2023年度の完成を目指す。



<小田川3支川河川激甚災害対策特別緊急事業>

- ・2018年7月の西日本豪雨により堤防が決壊し、未曾有の被害を受けた小田川3支川（末政川・高馬川・真谷川）は、2018年9月に河川激甚災害対策特別緊急事業に採択。
- ・小田川3支川の激特事業は、国・県・倉敷市が一体となって推進する「真備緊急治水対策プロジェクト」の一環。
- ・事業延長：1.37km（末政川）
0.78km（高馬川）
1.21km（真谷川）
- ・事業期間：2018～2023年度
- ・事業費：約89億円
- ・2019年1月から決壊箇所3河川6箇所の本復旧工事に着手し、同年6月中旬までに既設堤防高までの復旧が完了、さらに、9月上旬までには同箇所の激特事業の計画による堤防嵩上げ・堤防強化が完了。
- ・引き続き、決壊箇所以外の区間においても、2023年度の完成を目指し、堤防整備（堤防嵩上げ、堤防強化）を推進中。



2 国道 180 号岡山環状南道路 [中国地整]

…………… 岡山市南区古新田～岡山市南区藤田

- ・岡山環状南道路は、地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を構成する一般国道 2 号（岡山市南区古新田）から一般国道 30 号（岡山市南区藤田）に至る延長 2.9km の道路。
- ・岡山市中心部では、一般国道 2 号・30 号から多くの交通が流入しているため、慢性的な交通混雑が発生している。岡山環状南道路は、通過交通などの交通流を適切に分散導入し、岡山市中心部で発生している交通混雑を緩和することが期待される。



- ・岡山環状道路の整備により、岡山市中心部に流入する通過交通などを適切に分散導入し、交通混雑の緩和を図るとともに、周辺に位置する岡山港や岡山空港など広域交通・物流拠点との連結性を向上させることを目的として整備を進めている。

3 浦安 11 号幹線雨水管築造工事 [岡山市]

…………… 岡山市南区築港栄町

- ・平成 23 年 9 月の台風 12 号により 岡山市南部では大きな浸水被害が発生。
- ・浸水被害の軽減を目的として、貯留管としての地下トンネルを整備する『浦安 11 号雨水幹線』を実施。
- ・『浦安 11 号幹線(1 工区)雨水管築造工事』は、浸水被害の軽減のため浦安 11 号雨水幹線の一部の地下トンネルを整備する工事。
- ・平成 23 年 9 月の台風 12 号により甚大な浸水被害が発生した浦安排水区（岡山市南部の浸水常襲地区）における浸水被害軽減を目的とした雨水管整備事業。



- ・地上からの深さが約 26m、直径約 13m の発進立坑。深さ約 20m、仕上り内径 3,750 mm、延長約 3.7 km の泥水式シールド工法による雨水管築造工事。
- ・地下トンネル（雨水管）における二次覆工コンクリートの施工中。シールド工法による一次覆工（RC セグメント・鋼製セグメント）は、施工完了。